

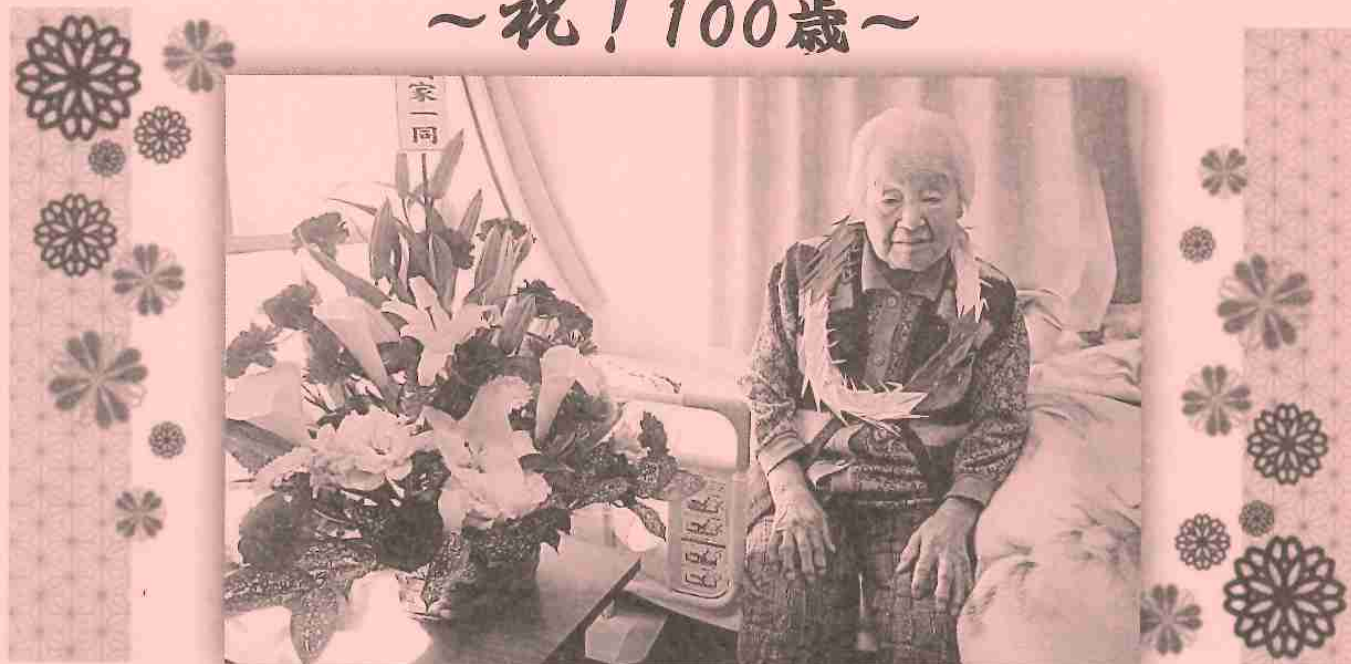


通信

電話048-480-4150

2021年4月30日発行

～祝！100歳～



去る2月24日、グループホームえん入居者の丸山久恵さんが100歳の誕生日を迎えられました。

丸山久恵さんは1921年（大正10年）、大安で晴天のこの日、長野県下伊那郡に8人兄妹の三番目として生まれました。

丸山久恵さんの生まれた頃は、大正デモクラシーが次第に色褪せ始め、元号が昭和に変わる頃は政治不信から政党政治は後退し、軍部が台頭。やがて軍靴の響きが聞こえてくる——。そんな時代でした。

しかし、一方で文化は色とりどりに花開き、宝塚歌劇や浅草オペラ、映画作品が続々生まれ、庶民の娯楽は豊かになった。丸山久恵さんも、青春時代に仕事仲間と映画を見に行くのが楽しみだったと話してくれました。

大正から昭和、平成、令和の時代を体験した丸山久恵さんは、2018年（平成30年）10月17日、97歳でグループホームえんに入居されました。

丸山久恵さんの100年の人生のお話をお聞きすると、どんな時代も真正直に、真面目に生きて来られたということがよくわかります。100年たった今、日本は住みよい国になっていますか？ これからも沢山お話を聞かせてください。

（グループホームえん／長谷川洋子）

※「丸山久恵さん100年インタビュー」連載予定です。乞うご期待！